

コーウン・マリ

勤怠管理サービス「クルーログ」導入

九州デジタルソリューションズ開発・提供



コーウン・マリンの山下取締役

大手化学メーカーの運金1億円、連結社員約1送・倉庫業を1社に担う600人が100%出ている東ソー物流(資本)買収するコーウン・マリ

(塚本均社長)はこのほ、九州デジタルソリューションズが開発・提供する内航海運事業向けの勤怠管理サービス「Crew Log」(クルーログ)の導入を決めた。コーウン・マリは、関係者とのウェアなどを活用した意見交換等を頻繁に行うとともに国土交通省海務局が実施している船員働き方改革推進セミナーでの講演など積極的に同活動に参画している。

また、船内生活や労働環境における改善、福利厚生面の充実化など、船員への働きやすさの向上を追求している。また、船内生活や労働環境における改善、福利厚生面の充実化など、船員への働きやすさの向上を追求している。

2015年3月1日より、船員の働き方改革や船員法改正への煩雑化した管理業務をサポートするサービスで、現場業務の負担を軽減し、船員の働きやすさを向上させる。また、国土交通省が推奨するエクセル(マクロ)での運用を開始し、いくつかのベンダーが提供しているサービスの検討を行った。船員はPC操作が苦手な方も少なくない。そのため、デジタル化への抵抗感を持つ方も多く、習熟には時間をかけて、段階的に操作を慣れさせる必要がある。数あるサービスの中から資料請求を行い、九州デジタルソリューションズ(クルーログ)を選んだ。導入にあたっては、船員に対する研修やサポートを充実させる。実際に船員が触れることで運用面や利

用方法を相談した。現場のデジタル化への移行と同時に、本サービスを導入した場合の運用イメージや疑問点について時間をかけて解消した結果、導入に踏み切ることができた。導入の決め手は、九州デジタルソリューションズの事業の継続性と会社の安定性だった。船員法改正以来、多くのベンダーが同様のシステムをリリースし、様々なシステムを目にしてきた。中には、完成度が高く操作性を重視したアプリもあったが、長期的なシステム運用を考えた場合、メンテナンスやアップデートなどのアフターフォローに不安があった。デジタル化に抵抗の少ない、ドック入渠時の機会がある船員に対し、システムを15年にリーリース。システム発売前から確固たる運用実績があり、都度現場業務からの声を傾け、バージョンアップやメンテナンスなどによる改善を図っている。魅力的なシステムやアプリは多くあるが、本システムを長く利用していく上でお客様の声に耳を傾けるきめ細やかな対応と九州を代表する金融グループの子会社であるという安心感・安定性が導入の決め手となった。「業務のデジタル化」といって、ハードルが高い、難しく感じています。デジタル化は非慣習で、環境づくりの一環を担うものと期待している。

2015年3月1日より、船員の働き方改革や船員法改正への煩雑化した管理業務をサポートするサービスで、現場業務の負担を軽減し、船員の働きやすさを向上させる。また、国土交通省が推奨するエクセル(マクロ)での運用を開始し、いくつかのベンダーが提供しているサービスの検討を行った。船員はPC操作が苦手な方も少なくない。そのため、デジタル化への抵抗感を持つ方も多く、習熟には時間をかけて、段階的に操作を慣れさせる必要がある。数あるサービスの中から資料請求を行い、九州デジタルソリューションズ(クルーログ)を選んだ。導入にあたっては、船員に対する研修やサポートを充実させる。実際に船員が触れることで運用面や利

用方法を相談した。現場のデジタル化への移行と同時に、本サービスを導入した場合の運用イメージや疑問点について時間をかけて解消した結果、導入に踏み切ることができた。導入の決め手は、九州デジタルソリューションズの事業の継続性と会社の安定性だった。船員法改正以来、多くのベンダーが同様のシステムをリリースし、様々なシステムを目にしてきた。中には、完成度が高く操作性を重視したアプリもあったが、長期的なシステム運用を考えた場合、メンテナンスやアップデートなどのアフターフォローに不安があった。デジタル化に抵抗の少ない、ドック入渠時の機会がある船員に対し、システムを15年にリーリース。システム発売前から確固たる運用実績があり、都度現場業務からの声を傾け、バージョンアップやメンテナンスなどによる改善を図っている。魅力的なシステムやアプリは多くあるが、本システムを長く利用していく上でお客様の声に耳を傾けるきめ細やかな対応と九州を代表する金融グループの子会社であるという安心感・安定性が導入の決め手となった。「業務のデジタル化」といって、ハードルが高い、難しく感じています。デジタル化は非慣習で、環境づくりの一環を担うものと期待している。

用方法を相談した。現場のデジタル化への移行と同時に、本サービスを導入した場合の運用イメージや疑問点について時間をかけて解消した結果、導入に踏み切ることができた。導入の決め手は、九州デジタルソリューションズの事業の継続性と会社の安定性だった。船員法改正以来、多くのベンダーが同様のシステムをリリースし、様々なシステムを目にしてきた。中には、完成度が高く操作性を重視したアプリもあったが、長期的なシステム運用を考えた場合、メンテナンスやアップデートなどのアフターフォローに不安があった。デジタル化に抵抗の少ない、ドック入渠時の機会がある船員に対し、システムを15年にリーリース。システム発売前から確固たる運用実績があり、都度現場業務からの声を傾け、バージョンアップやメンテナンスなどによる改善を図っている。魅力的なシステムやアプリは多くあるが、本システムを長く利用していく上でお客様の声に耳を傾けるきめ細やかな対応と九州を代表する金融グループの子会社であるという安心感・安定性が導入の決め手となった。「業務のデジタル化」といって、ハードルが高い、難しく感じています。デジタル化は非慣習で、環境づくりの一環を担うものと期待している。

用方法を相談した。現場のデジタル化への移行と同時に、本サービスを導入した場合の運用イメージや疑問点について時間をかけて解消した結果、導入に踏み切ることができた。導入の決め手は、九州デジタルソリューションズの事業の継続性と会社の安定性だった。船員法改正以来、多くのベンダーが同様のシステムをリリースし、様々なシステムを目にしてきた。中には、完成度が高く操作性を重視したアプリもあったが、長期的なシステム運用を考えた場合、メンテナンスやアップデートなどのアフターフォローに不安があった。デジタル化に抵抗の少ない、ドック入渠時の機会がある船員に対し、システムを15年にリーリース。システム発売前から確固たる運用実績があり、都度現場業務からの声を傾け、バージョンアップやメンテナンスなどによる改善を図っている。魅力的なシステムやアプリは多くあるが、本システムを長く利用していく上でお客様の声に耳を傾けるきめ細やかな対応と九州を代表する金融グループの子会社であるという安心感・安定性が導入の決め手となった。「業務のデジタル化」といって、ハードルが高い、難しく感じています。デジタル化は非慣習で、環境づくりの一環を担うものと期待している。